

技術検討会「スマート林業のIoT機器開発と人材育成」

世話役 氏名入江博樹・葉山清輝(熊本高専)

1 事業概要

目的	(技術検討会の活動目的) 中山間地域の林業に携わる若手人材を支援するためのIoT機器について検討し、スマート林業に携わるIoT人材の育成について検討する。
内容	(技術検討会の活動概要) 林業の活動の場でのIoT機器の要件や条件の収集を手始めに、次の活動を行う。 ①林業での人材不足や人材育成に役立つようなIoT機器の開発・導入について検討する。技術的には、衛星データ、無線通信、ドローンの利用などを考えている。 ②中山間地域の過疎対策や産業育成に必要なIoT人材の育成について検討する。
計画	(技術検討会の活動計画概要) 年に数回程度、現地見学会などを実施して林業従事者らとのIoT学習会や技術検討会を開催し、具体的な機器開発や人材育成へとつなげていく。
キーワード	(技術検討会に関連する技術、ビジネス等のキーワード) スマート林業、IoT、ドローン、GNSS(衛星測位システム)、LPWA(無線通信)
目標及びその進め方	(技術検討会で実現したい目標とそのための進め方など) スマート林業に役立つIoT機器の開発を行うとともに、それを利用して人材育成を行い、県内中山間地域の振興に寄与することを目標とし、次のようにして進める。 ・産学官から興味・関心を共有する参加者を募る。 ・参加メンバーが持つ情報を共有し、学習会の後に、議論・討論を行う。 ・議論・討論内容を整理して具体的なテーマを設定し、行動に移すための調査・検討を行う。 ・具体的な機器の開発とそれをういた人材育成の取り組みを行う。
対象者	(技術検討会に参加を呼びかける際に対象となる人) スマート林業に関心がある方、中山間地域の過疎対策に取り組んでおられる方。
会員	(技術検討会の設置時のメンバー) 世話人2名および企業会員である(株)構造計画研究所を含む企業からの参加者2名を立ち上げメンバーとする。これまで、産・官・学の土木関係者らとつながりを持って活動してきているので、それらから設置時メンバーを構成し、関心を持つ産業分野等の参加者を随時加えながら検討を進めていく予定である。

2 支出計画

(単位:千円)

	RIST負担分					備考
	設備費	原材料費	消耗品費	その他	合計	
予算		100	80	120	300	
実績						

3 予算積算(概算で結構です)

(単位:千円)

	品名	単価	個数	価格	備考
設備費					
原材料費	電子部品(各種センサー、無線モジュール)	20	5	100	
消耗品費	材料費(3Dプリンタ用フィラメント)	80	1	80	
その他	現地見学会旅費(矢部高校と学校営林地) 講師謝金、会場代など	30	4	120	
合計				300	